

第12回 市民フラザ跡地複合施設 管理運営ワークショップ
プログラム

資料 1

日時：平成26年6月24日（火）14：00～16：00

場所：本庄市役所 職員厚生室

プログラム

時 間	内 容	備 考
～14:00	受付 ・ 3 グループに分かれます	
14:00～14:05	(1) 今日の進め方【5分】	資料 1
14:05～14:15	(2) 前回のふりかえり【10分】 ・ ワークショップのまとめ ・ なんでもアンケートのまとめ	資料 2 資料 3
14:15～14:20	(3) 今日のテーマに関するミニレクチャー【5分】 ・ 「ホームページによる情報発信の特徴と作成のポイント」	資料 4
14:20～15:20	(4) グループワーク【60分】 テーマ『ホームページについて』 ■手順 1. 個人作業（15分） 思いついた意見やアイデアを簡潔に付箋に書き出します。（発言した意見やアイデアが議論の途中で消えてしまわないように書き出します） 2. 意見出し（30分） 簡単に説明をしながら、全員が順番に付箋を模造紙に貼ります。 （同類の意見は、後でまとめやすいように近くに貼ります） 3. グループ意見のまとめ（15分） 個々の意見を整理し、発表しやすいようにグループの意見としてまとめます。 ■注意点 ・ 今日のリーダーを中心に話し合いを進めます ・ 全員が発言できるように配慮しましょう ・ 時間配分に気を付け、議論漏れがないようにしましょう ・ 適宜休憩を挟みながら進めましょう	
15:20～15:40	(5) 各グループからの発表（全体会）【20分】 ・ 各グループのリーダーが話し合いの過程や意見をまとめて発表します（1グループ7分程度で…） ・ 他グループの発表で疑問点があれば質問しましょう	
15:40～16:00	(6) 次回の予定、メンバーからのお知らせ、アンケート【20分】 ・ 次回の課題について説明します（課題告知、開催通知配布） ・ メンバーからイベント等のお知らせがあればお願いします ・ 「なんでもアンケート」への協力をお願いします	資料 5

●展示ホールの活用について

Aグループ		Bグループ		Cグループ	
【各種展示会やイベント等の開催】※具体的に誰がどんな展示会やイベントを開催できるか？					
・本庄市の偉人の企画展 →図書館は石川三四郎氏のコーナーを設けているが、他の場所では見るできないため、展示をしてほしい。また、歴史民俗資料館のパイプ役のような役割をしてほしい ・はにぼんコーナー ・ウォーキングイベント（12ヶ月で本庄1周） ・オール本庄を作る	桜	・桜の名所の写真 ・桜の案内（桜の名所巡り） →地元の桜の名所しか知らない人も多いため、各々が知っている名所を紹介する。		・ボランティア団体の活動発表、ボランティアフェスティバル ・趣味の団体の発表の場、ギャラリーとして利用する ・障害者の作品展 ・ミニコンサート ・学校等の演奏会を日・祝日限定で行う（玄関でPR） ・子供たちの作ったモノの展示、保育園などの活動発表 ・各自治会の山車の展示…順番を決める必要がある（1ヶ月～2ヶ月の入れ替え制） ・山車は文化財なので展示する場合、特別な装置がありますか？	
	祭り	・神輿の展示、昔の祭具の展示 ・児玉地域の山車の展示 ・市内のお祭りが全て分かるパネルの展示（観光協会に協力していただく） ・大道芸祭り（人を集めることが大切）			
【パネル展示】※具体的にどんな内容のパネルが効果的か？誰がどんな方法でパネルを作成するか？					
・観光（観光協会や商工課と協力して作成） ・児玉三十三霊場 ・本庄市の魅力（写真のパネル展示） ・サイクリングコース ・七福神コース ・本庄の四季、本庄の見所 ・市内のお店（店側にもメリットがあるようにすれば、協力していただけるのではないかな。）	中山道	・七福神、中山道（写真のパネルや、ウォーキングコースの紹介） ・本庄宿、昔のまちなみ ・鎌倉街道（中山道だけではなく、歴史の古い鎌倉街道についても展示してほしい）		・利用団体のPR ・ボランティア団体などの情報、PR ・子育て情報 ・観光（観光協会に協力していただく）→パネルは四季ごとに分ける ・展示ホールの展示は常設ですか？（利用のない時は？）	
	観光史跡	・みんなに知って欲しい建物の案内 ・観光して欲しい場所の展示（児玉三十三霊場等） ・世界遺産との関連で、富岡・伊勢崎と連携し児玉をPRしてほしい			
	方言	・方言（テデテ～、そ～な～↑ん等）			
【他の活用方法】※新たなアイデアはありますか？					
	発団表	・グループ発表会、作品展（活動内容・実技・踊り・スポーツ）		・案内者を用意する（山車等を展示する際は、説明が出来る人を配置する） ・展示ホールについての前回の意見は、どれも取り入れてほしい	
	今昔物語	・昔と今（昔のVTR、写真） →今生きている人達が知っている過去と今を比べると面白いのではないかな。例えば、明治・大正と今。			

●PRスペースの活用について

【映像の放映】※どんな内容の映像が効果的か？誰がどんな方法で映像を作成するか？ ・繭市場 ・本庄の四季 ・本庄市民ニュースの放映 （本庄ケーブルテレビに協力していただく）		映像 映像体験と	・四季、自然、祭り、歴史、史跡 ・お囃子のDVD放映と実演 （月に数回、実演をする）	写真を撮るクラブや映画	・行事やイベントの様子 ・利用団体のPR ・児玉郡市内の観光のPR ・観光案内、季節ごとの観光スポット紹介 ・本庄の歴史映像 ・歴史民俗資料館と連携するモノ等の展示 ・ジオラマの展示 ・パネルは主催者が飾り付けをする。 （パネルは使いやすい物がよい） ・学校等のクラブに作成してもらう ・一般から募集してコスト削減を図る	P R と 過 去 の 地 元 に 、 『 未 来 』 を 現 在 に の つ い て 。 （ は 展 に 示 を ん す
【パネル展示】※具体的にどんな内容のパネルが効果的か？誰がどんな方法でパネルを作成するか？ ・本庄城址 ・神社、仏閣		農産物 芸術	・本庄市の特産品をPRするパネル ・農産物フェア、定期的に朝市を行う（月1回〇曜日） ・芸術祭り、定期的に展示をする ・市内の学校に提供（生徒の作品を展示する） →例えば、各学校へ1週間ごとに貸出を行う。展示する都度パネルを設置するのではなく、常にパネルやレールが設置されていて、いつでもすぐ飾れる状況、発表できる状況を作ってあげる。展示するモノがあるから設営するのではなく、設営されているから展示したくなる状況を作る。		・はにぼんのPR ・地元の名産のPR ・特産品等のPR ・将来の夢や本庄の未来 ・PRスペースの展示や設置には期間限の定めはあるのか？	
【ちらしやパンフレットの設置】※具体的にどんな内容のちらしやパンフレットが効果的か？誰がどんな方法でちらしやパンフレットを作成するか？ ・市の広報や新聞、本庄ケーブルテレビ等のマスコミを活用する			・大量印刷ではなく、必要な時にプリントする。 →データとして置いておき、必要に応じてプリントしてもらう。（各団体はデータ修正がしやすいため、ちらしやパンフレットの内容を最新の情報に保つことができる）		・部門別の展示を考えて利用のない時は繰り返し行うなど ・福祉関係、教育関係、商・工・農関係の方に協力していただき作成する。（観光寺社風景関係等） ・設置の期間や内容に一定の決まりはあるのか？	
【他の活用方法】※新たなアイデアはありますか？ ・インターネットの活用。新施設でイベント等が実施される場合は、市のホームページでPRする。		味店 テーマ 映画	・本庄の美味しいお店 ・懐かしの味発見！（閉店してしまったお店等、昔を思い出しながら味を語り合う） ・期間を区切って、“テーマ設定”をして展示をする →例えば、歴史をテーマにした場合、歴史に関するモノを飾ってもらう。（例：本庄の春（四季）、本庄からの景色、××時代の本庄、昭和初期、農産物等） ・人に見せたい自慢の品 ・映画のまちとしてPRする ・映画のロケ地を地図に表記する ・館内全てに母親の似顔絵を飾る（母の日に、子供から大人までが自分の母親の似顔絵を描き、飾る。）			

第11回 市民フラザ跡地複合施設 管理運営ワークショップ なんでもアンケートのまとめ

1. 今日のワークショップについて

No.	メンバーの皆さんより	事務局より
1	ほとんどの意見が実現可能な内容だと感じた。	今回もたくさんのアイデアをいただき、ありがとうございました。施設オープンの際に、すべてのアイデアを実現することは難しいとは思いますが、本庄の魅力を発信するスペースとして、市民の皆さんとともに作り上げていきたいと考えています。
2	パンフレットは必要な時にプリントアウトすれば、無駄にならずにいいと思います。	貴重なご意見をありがとうございます。古い情報は魅力が半減してしまいますので、最新の情報を無駄なく発信する方法として、素晴らしいアイデアだと思います。パソコンやプリンターの管理、印刷実費の徴収などの課題もありますので、今後、研究したいと思います。
3	【言い忘れ】 PRコーナーに ・はにぽん投票コーナー ・市内〇〇検索コーナー →次回のホームページかな？	PRスペースに誰でも自由に使えるインターネットに接続パソコンを設置することは、管理上の課題が多いことから、現在のところ計画していませんが、施設オープン後の状況を見つつ、館内でインターネットが利用できる環境の整備についても検討していきたいと考えています。
4	スペースが広すぎ想像する事が難しかったです。大いに活用していただけるスペースになるといいなと思います。 障害者の為のフラッシュライト、他の施設にないなら、ぜひ本庄が先がけでして欲しいと思います。	200㎡を超える広さの3階吹き抜けの展示ホールについては、作品展示だけでなくイベント等にも利用できますので、今後も活用方法についてのアイデアをいただければ幸いです。 また、この施設は、障害者の方はもちろん子供から高齢者まで様々な方が気軽に利用できる施設を目指し、設計にはユニバーサルデザインを採用しています。聴覚に障害のある方だけの集まりでも安心して部屋を利用することができるように、少人数での集まりに便利な「活動室C」と、可動式間仕切り壁を開け閉めすることで中～大人数の集まりまで対応可能な「活動室E」の2部屋に火災報知機と連動したフラッシュライトを設置する計画になっています。トイレや廊下、階段等を含め、すべての部屋やスペースについて、死角がないようにフラ

		<p>ツッシュライトを設置することは難しいですが、法令で設置が義務づけられている避難口誘導灯は、音声と光点滅で非難方向を知らせる仕様にしています。それだけでなく、施設管理者が中心となり施設内に事務所を設置する社会福祉協議会とも連携を図りながら、非常時には速やかに適切な避難誘導ができるように、運営面で障害者の方々の利用をサポートしていきたいと考えていますので、ご理解をいただければと思います。</p>
5	<p>新しい施設の図面を見ただけでは、なかなかイメージがわからず、良いアイデアが出ずに申し訳ありませんでした。他の方の意見を伺い、とても勉強になりました。ありがとうございました。</p>	<p>お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。事務局だけでは思いもつかない素晴らしいアイデアが次々と出てくることに本当に驚きました。</p> <p>次回についても、気軽にご参加いただき、意見交換を楽しんでいただけたらと思っています。</p>
6	<p>展示について、出席者で市外施設の見学をしたらどうか。</p> <p>例：行田市蓮会館 川越市山車会館 長瀬自然博物館</p>	<p>市外には観光を目的とした会館や博物館が数多くあります。これらの施設は展示専用の観光目的の施設であり、テーマに沿った常設展示を基本にしていますので、ある程度費用をかけて造りこんだ仕様になっていますが、本施設の展示ホールやPRスペースは多目的な活用を考えているため、展示物の撤去と設置が容易にできるパネル展示が中心になると考えています。</p> <p>パネルの内容については、メンバーの皆さんからいただいたアイデアを参考にして事務局で検討を進めますが、今後、管理運営における課題について他施設の視察が必要な時には、他のメンバーの皆さんのご意見も伺いたいと考えています。</p>
7	<p>いろいろ良いアイデアが出て、充実したワークショップであった。</p>	<p>皆さんのご協力により、充実した意見交換ができたことに感謝いたします。次回以降のワークショップでも、前向きな意見やアイデアがたくさん出るように、楽しい雰囲気を進めたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p>

ホームページによる情報発信の特徴と作成のポイント

1. ホームページによる情報発信の特徴

(1) 広報範囲の拡大

24時間・日本中・世界中に情報発信

(2) 低コスト

印刷媒体（新聞・雑誌・ちらし・パンフレット等）は1度限りのもの
紙面サイズの制限がなく、詳細な情報提供が可能

(3) 内容変更の容易さ

情報内容に変更や修正があっても容易に更新 → 常に最新の情報を発信

(4) 情報収集

閲覧者（利用者）の声を聞く手段

2. ホームページ作成のポイント

(1) 目的とターゲットの設定

何を、誰に、どんな目的でPRするのか

(2) 閲覧者に優しい構成

情報を分かりやすく掲載

閲覧者が求める情報に確実にたどり着ける分かりやすい構成

3. 市内公共機関及び関係団体のホームページ設置状況

本庄市役所、本庄市社会福祉協議会、本庄市観光協会、本庄市立図書館、本庄文化会館、シルバー人材センター、本庄市民文化会館、本庄老人福祉センターつきみ荘、本庄上里給食センター等

4. 他市類似施設のホームページ設置状況

越谷市市民活動支援センター、熊谷市市民活動支援センター、春日部市市民活動センター、さいたま市市民活動サポートセンター、鴻巣市市民活動センター、市民プラザかぞ等

●本施設の特徴を活かし、まちの活性化につながるようにホームページにどんな情報を掲載すれば効果的かと思いますか？

- ① 本施設をより多くの方に利用していただくために
- ② 本庄市の魅力を市内外に伝えられるように
- ③ 分野の壁を越え、団体と団体、人と人との交流が深まるように
- ④ 市民活動がさらに活発となり、多彩な活動が生まれるように

●ホームページの作成や更新に市民の皆さんが関われることはありませんか？

市民フラザ跡地複合施設 第13回管理運営ワークショップの課題告知**次回ワークショップのテーマ：「愛称の選考について（愛称選考会）」****1. 次回ワークショップのねらい**

第13回目となる次回のワークショップは、新施設の管理運営について様々なアイデアをいただいている皆さんに、現在、募集を行っている愛称について、候補となる数点を選考していただきたいと思います。愛称は、①覚えやすく、親しみのあるもの ②施設のコンセプトや特徴がイメージできるもの ③自作の未発表作品で、他の名称や商標などに類似していないもの を条件として設定していますので、この3つの条件を念頭に選んでいただくことになります。皆さんに数点まで絞っていただいた後は、市長が採用作品を決定し、10月頃に発表する予定です。

新施設は、市民の皆さんが主役となり活動する市民交流の拠点施設となります。多くの人に親しまれ、誰でも気軽に立ち寄れるまちの新たなシンボルにふさわしい愛称候補の選定をよろしくお願いいたします。

2. 次回の進め方

- (1) 市長あいさつ
- (2) 本施設のコンセプトや特徴の確認
- (3) 選考方法の説明
- (4) 選考作業